

## 真栄城輝明先生講演会の開催報告

2020.3.6

### 教育学部

特別任用教員（教授）の定年退職を迎えられる真栄城輝明先生の最終講義「私の心理臨床を振り返って～「箱庭」から「内観」まで～」が、2月16日（日）1-313教室において、午後1時から3時まで、第14回佛教大学箱庭療法研究会の記念講演として、佛教大学箱庭療法研究会主催、佛教大学心理学研究会（モモの会）共催で行われました。

学部学生、大学院生、修了生、研修員、相談員、学科教員、臨床心理士・公認心理師、真栄城先生の前任校の関係者、ゆかりのある一般の方を含め約70人が、熱心に講演に耳を傾けました。学生時代から精神科臨床のアルバイトを始めたこと、箱庭療法との出会い、死のテーマをめぐって、内観療法の実際など、真栄城先生のこれまでの歩みが熱く語られ、参加者も深く感銘を受けました。

質疑応答、花束と記念品が佛教大学箱庭療法研究会事務局から贈呈された後、午後4時過ぎまで茶話会が行われ、真栄城先生の伴奏に合わせて、モモの会の学生や前任校の卒業生などが合唱を披露し、先生との親睦を深めてお別れを惜しむ機会となりました。



